

講座名称：「高冷地植物生産生態学演習」  
「高冷地動物生産生態学演習」  
「高冷地生物生産生態学演習」

各2単位

担当教員：高冷地植物生産生態学演習 鈴木香奈子，春日重光，荒瀬輝夫  
高冷地動物生産生態学演習 今井裕理子，鈴木香奈子，上野 豊，荒瀬輝夫  
高冷地生物生産生態学演習 鈴木香奈子，春日重光，荒瀬輝夫

対象学生：全国の大学2年生以上

実施時期：高冷地植物生産生態学演習 2022年8月22日（月）～8月25日（木）  
高冷地動物生産生態学演習 2022年8月29日（月）～9月 1日（木）  
高冷地生物生産生態学演習 2022年9月 5日（月）～9月 8日（木）  
※全日程，最終日の終了時刻は15：30の予定です。

※応募者多数の場合は，受講志望理由書等により選考いたします。

集合時刻：7：30

集合場所：伊那キャンパス管理棟前ロータリー（長野県上伊那郡南箕輪村8304）  
※集合場所までは公共交通機関を利用すること。

実施場所：信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター  
野辺山ステーション

（長野県南佐久郡南牧村大字野辺山字ニツ山462-1 TEL：0267-98-2638）

※詳しい集合場所および実施場所については信州大学農学部HPをご覧ください。  
(<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/access/>)



内容・計画：信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター（AFC）には，フィールド科学の実践の場として，農学部構内に設置された構内ステーションと八ヶ岳東山麓の野辺山高原（標高1,351m）に位置する野辺山ステーションがあります。構内ステーションには21haの農場があり，果樹，野菜，花卉，ソバ，マメ類，飼料作物を栽培しています。野辺山ステーションには19haの農場と自炊設備を備えた宿泊施設（収容97名）があり，周辺一帯は高原野菜の栽培と酪農が盛んな地域です。こうした環境のなかで環境保全型農業に関わる教育，研究を推進しています。AFC野辺山ステーションでは，夏季の冷涼な環境を活用し，高冷地特産のキャベツやベニバナインゲン，ソバを主に生産しています。また，黒毛和種の繁殖飼育を行っています。

本演習では，教員および技術職員の指導により，高冷地である野辺山ステーションを活用して高原野菜の収穫・出荷および家畜の飼養管理を体験し，食料の生産から出荷・販売までの一連の過程を学びます。JA長野八ヶ岳集荷場の視察や八ヶ岳牧場の見学などを行う他，野辺山ステーション周辺の自然観察を行い，高冷地の特異な自然環境について学びます。また，共同作業を行うことによって協調性を培う機会を創出することも本演習の目的の一つです。各演習はほぼ同様の内容を取り扱いますが，演習により重点的に取り組む項目が若干異なります。高冷地植物生産生態学演習は高冷地における作物の栽培から収穫・出荷までについて，高冷地動物生産生態学演習は乳用牛や和牛の飼養管理について，高冷地生物生産生態学演習では高冷地における作物の栽培から収穫・出荷に加えて，和牛もしくは乳用牛の飼育管理について複合的に学びます。

本年度の演習計画は以下の内容で予定しています。

#### 【高冷地植物生産生態学演習】

8/22（月）午前：農学部集合（7：30），野辺山ステーションに移動。

実習の説明，キャベツの収穫作業

午後：JA集荷場視察，作物根の観察・調査。

野辺山ステーションから農学部へ移動。農学部到着・解散（17：30）

- 8/23 (火) 午前：農学部集合 (7:30), 野辺山ステーションに移動。  
キャベツの収穫作業  
午後：土壌観察・調査  
野辺山ステーションから農学部に移動。農学部到着・解散 (17:30)
- 8/24 (水) 午前：農学部集合 (7:30), 野辺山ステーションに移動。  
スイートコーンの観察と収穫  
午後：ベニバナインゲンの観察  
野辺山ステーションから農学部に移動。農学部到着・解散 (17:30)
- 8/25 (木) 午前：農学部集合 (7:30), 野辺山ステーションに移動。  
野辺山および八ヶ岳周辺の植生調査・観察 (平沢山・飯盛山)  
午後：レポート作成  
野辺山ステーションから農学部に移動。農学部到着・解散 (15:30)

### 【高冷地動物生産生態学演習】

- 8/29 (月) 午前：農学部集合 (7:30), 野辺山ステーションに移動  
実習の説明, 牛舎清掃, 放牧地の整備  
午後：JA集荷場視察, 放牧地の整備/黒毛和牛の飼育見学・牛舎清掃。  
野辺山ステーションから農学部に移動。農学部到着・解散 (17:30)
- 8/30 (火) 午前：農学部集合 (7:30), 野辺山ステーションに移動  
黒毛和牛の飼養管理/キャベツの収穫作業準備  
八ヶ岳牧場見学 (1・2班) /スイートコーン収穫 (3・4班)  
午後：八ヶ岳牧場見学 (3・4班) /スイートコーン収穫 (1・2班)  
黒毛和牛の飼養管理/キャベツの収穫作業準備  
野辺山ステーションから農学部に移動。農学部到着・解散 (17:30)
- 8/31 (水) 午前：農学部集合 (7:30), 野辺山ステーションに移動  
キャベツの収穫作業  
午後：牧草の種類調査・観察, 乳製品の加工体験  
野辺山ステーションから農学部に移動。農学部到着・解散 (17:30)
- 9/1 (木) 午前：農学部集合 (7:30), 野辺山ステーションに移動  
野辺山および八ヶ岳周辺の植生調査・観察 (平沢山・飯盛山)  
午後：レポート作成  
野辺山ステーションから農学部に移動。農学部到着・解散 (15:30)

### 【高冷地生物生産生態学演習】

- 9/5 (月) 午前：農学部集合 (7:30), 野辺山ステーションに移動。  
実習の説明, キャベツの収穫作業  
午後：JA集荷場視察, 作物根の観察・調査。  
野辺山ステーションから農学部に移動。農学部到着・解散 (17:30)
- 9/6 (火) 午前：農学部集合 (7:30), 野辺山ステーションに移動。  
キャベツの収穫作業  
午後：土壌観察・調査  
野辺山ステーションから農学部に移動。農学部到着・解散 (17:30)
- 9/7 (水) 午前：農学部集合 (7:30), 野辺山ステーションに移動。  
黒毛和牛の飼養管理作業体験  
午後：スイートコーンの観察・収穫  
野辺山ステーションから農学部に移動。農学部到着・解散 (17:30)
- 9/8 (木) 午前：農学部集合 (7:30), 野辺山ステーションに移動  
野辺山および八ヶ岳周辺の植生調査・観察 (平沢山・飯盛山)  
午後：レポート作成  
野辺山ステーションから農学部に移動。農学部到着・解散 (15:30)

※本年は野辺山ステーションに宿泊しません。

※天候および野菜の生育状況，受講学生の専攻等により計画を一部変更することもあります。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況，台風，地震等のやむを得ない事情によって，実習中止もしくは日程，内容を変更する場合があります。

参加費用：高冷地植物生産生態学演習・高冷地生物生産生態学演習：不要。集合場所までの旅費は自己負担です。

高冷地動物生産生態学演習：八ヶ岳牧場の見学料金（1,500円程度）が必要です。初日に徴収します。集合場所までの旅費は自己負担です。

宿 泊：なし。宿泊を要する参加者には農学部近隣の宿泊施設を紹介します。詳細については別途お問い合わせください。

提出書類：自大学の学務(教務)担当者とは相談の上，下記の書類を提出してください。

IとIIの受入身分の違いによって提出書類が異なるのでご注意ください。

※受入身分について等，不明な点がある場合は下記お問い合わせ先へご連絡ください。

### I. 単位互換協定の協定校の学生等で特別聴講学生となる場合

以下6点の書類を所属大学・学部の学務(教務)係等へ提出してください。

①依頼書(履修希望学生の所属大学学部長から信州大学農学部長へ)

②履修願(履修希望学生から信州大学農学部長へ)

③申告書(履修希望学生から所属大学学部長へ)

④受講志望理由書

⑤学生教育研究災害保険及び学研災付帯賠償責任保険の加入証明書の写し

⑥成績証明書

※書類は所属大学・学部の学務(教務)係等にお問い合わせください。

### II. 特別聴講学生とならない場合

以下3点の書類(①②は，下記URLよりダウンロード)を希望学生自身が送付先まで提出してください。

ただし指導教員，クラス担任等の押印が必要です。

①申込書

②受講志望理由書

③学生教育研究災害保険及び学研災付帯賠償責任保険の加入証明書の写し

※所属大学によっては，正課ではない授業には保険が適用されない場合がありますのでご確認ください。

※様式ダウンロードURL：

<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/institutes/afc/>

(2022年度「公開農場実習」受講生募集のお知らせ内のリンクをクリック)



書類送付・お問い合わせ先：

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304 信州大学農学部学務グループ

Tel：0265-77-1309 Fax：0265-77-1313 Email：agakumu@shinshu-u.ac.jp

※送付の際には，封筒の表に「公開実習受講申込書在中」と朱書き願います。

提出締切：I・IIとも2022年7月1日(金) 信州大学農学部必着

受講許可：書類の提出後，受講の可否について本人に通知します。

履修上の注意事項：

- I. 特別聴講学生となる場合  
修了者には信州大学農学部から所属大学・学部の学務（教務）宛に単位修得証明書を発行します。
- II. 特別聴講学生とならない場合  
修了者には「修了証」を発行します。自大学で単位の認定を希望する学生は、事前に自大学学務担当係等に確認してください。

受講にあたっての注意事項：

風邪の症状、発熱、倦怠感など体調に異変を感じた場合は、無理をせずキャンセルしてください。

※キャンセル連絡先：信州大学農学部学務グループ TEL：0265-77-1309  
(実習前日（土日を含まない）13時まで)

公開実習実施における感染防止対策について：

- ①実習開始日の2週間前に、「信州大学の行動基準レベル」に基づき、実習実施及び他大学学生の受入について判断します。
- ②参加学生は実習開始日7日前からの検温及び健康観察を実施してください。
- ③実習開始前に検温を行います。体温異常（37.5度以上）が検知された場合、あるいは少しでも風邪症状や倦怠感、味覚・嗅覚の異常がある場合は受講できません。
- ④消毒液を用意いたしますので、適宜手指の消毒を行ってください。
- ⑤屋内での講義の場合、担当教員の指示に従って距離を開けて着席してください。
- ⑥マスクを常時着用してください。ただし、屋外で互いに距離がある場合はマスクを外しても可とします。マスクを着用できない理由がある場合は事前にご相談ください。
- ⑦屋内での講義の場合、窓、扉を常時開放します（難しい場合は、少なくとも1時間おきに10分以上2方向の換気を行います）。

その他特記事項：

◎持参物

昼食、水筒、健康保険証、作業着<sup>(注1)</sup>、帽子（収穫作業および日焼け防止用）、手袋（作業に適したゴム（園芸用）手袋等）、ゴム長靴、カッパ、日焼け止め、筆記用具、集合場所までの交通費

※野辺山ステーションは高標高（1,351m）のため朝夕は冷え込むので、防寒着等が必要です。

◎食事

昼食は各自で用意、持参すること。

◎欠席について

- ・1週間前までに信州大学農学部学務グループまで申し出てください。
- ・直前にやむなく欠席・遅刻する場合は、各演習の前日（土日を含まない）までに信州大学農学部学務グループに連絡してください。
- ・当日やむなく欠席・遅刻する場合は、野辺山ステーション（Tel080-9287-3980）に必ず連絡してください。

注1：長袖、長ズボン等動きやすく、汚れても構わない服装であれば特に指定はありません。ジャージ上下、つなぎ等も可能。

注2：野辺山ステーション内にゴミ箱はありません。ゴミ袋を持参のうえ、各自持ち帰ってください。